

神戸慶應倶楽部
発行人 今泉 良太

〒650-0024
神戸市中央区海岸通8番地
神港ビルヂング625
TEL 078-393-0050
FAX 078-393-0051

編集人 岩井玄太郎 / 益原武史

BRB_SUMMER

Keio University





9月例会

9月5日（木）18:30～ 神戸市立中央区文化センター

登壇者 関野 博和 会員（昭54・商）『ひょうごのお城について』

例会の際の講演という、職業に関する各分野の専門家の方にお越しいただきご講演いただくことが多いのですが、関野先輩は城（城跡）巡りを趣味とされており、その趣味についてお話ししていただくという珍しい例会となりました。その珍しさもあってか、「今まで入会以来倶楽部の集まりに参加したことが無いが、お城に興味があるから参加した」という方も含め、19名の会員の方にご出席いただきました。

内容に関しましては、タイトルの通り兵庫県内にあるお城の写真をしながら、統治していた武将の紹介、そのお城を巡る戦い等についてお話しいただきました。個人的には当時読んでいた小説が、荒木村重が織田信長に反旗を翻し、伊丹城（有岡城）に籠城しながら毛利の援軍を待っている最中だったのですが、まさにその荒木家と伊丹城のお話があり、あーそういう結末になったのだなと読み終わりより先にオチを知ることとなりました。なお、その小説自体はオチが分かっても面白かったので当然関野先輩には何の恨みもありません（笑）

最後の質問コーナーの際には関野先輩のお薦めのお城は？という質問に対し、兵庫県内では有子山城、県外では月山富田城（安来市）・郡山城（安芸高田市）とのお答えがあったので皆様も一度訪問されてはいかがでしょうか。

なお本来例会はご講演で終了の予定だったのですが、参加者からのご希望が多く、かつ処花太郎さんに移動し、講師の関野先輩を囲んで二次会を開催し、盛会のうちに終了となりました。

岡 篤志（平23・商）



10月例会

10月17日（木）19:00～ ホテル ニューグランド
インターポート交流会in横浜

10月例会は、横浜三田会との交流会として、横浜の地にて開催されました。

横浜三田会は、地域三田会最古とされていて、同じ港町にある神戸慶應倶楽部とのインターポート交流会が開催されました。

会場は山下公園すぐ側のホテルニューグランド。福澤克雄先輩が演出された「華麗なる一族」でも、何度も登場したホテルです。

横浜三田会からは23名、神戸慶應倶楽部からはなんと28名の参加となりました。横浜三田会の上野会長から開催宣言と歓迎のお言葉があり、武市会長からもご挨拶をいただきました。康乗先輩からは、このインターポートの集いのこれまでの経緯についてもご説明いただき、互いの友情を分かち合い、これまでの伝統を継承しながら、新たな歩みを共にすることの大事さを改めてかみしめることができました。横浜三田会西郷槇子さんと佐井評議員のスペシャルトークも挟みながら、横浜の皆様との歓談は各テーブル大いに盛り上がっていました。はじめましての関係でもすぐに打ち解けられるのが塾員同士の交流です。

恒例のカレッジソング斉唱は若き血だけではなく、丘の上、慶應讃歌までフルコーラスでした。

二次会は横浜会員様のイタリアンバーで開催され、その後三次会まで大いに楽しまれた方もいらっしゃったようです。

交流会のオプション企画として、横浜三田会の西郷槇子さんに三溪園のご案内いただきながら名物三溪そばをいただく企画や、中華街コンシェルジュとめぐる中華街豪華ランチ企画なども開催されました。一部メンバーは、名門程ヶ谷カントリー倶楽部でのゴルフでのラウンドも楽しまれていました。

今回の交流会は、康乗先輩の協力によって無事開催することができました。改めて御礼申し上げます。

来年度は、神戸での開催を計画しております。神戸の魅力の1つである日本酒をご用意させて頂く予定にしておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日野 哲志（平21・法科）



12月家族例会

12月14日（土）18:00～ 神戸ポートピアホテル

今回は、「何か記念になるものを」と担当幹事で、神戸慶應倶楽部クリスマス家族例会版のサクマドロップスを作成し、参加者にお渡しさせていただきました。

神戸の夜景が一望できる会場をお借りして、今泉幹事長の進行で例会がスタート。武市会長の開会挨拶に続いて、佐井評議員による乾杯のご発声の後、美味しい料理に舌鼓を打ち、大人も子どもも自然と笑顔がこぼれました。

新入会の方からのご挨拶の後、天竹副幹事長と黒川副幹事長の進行で豪華景品の当たるゲーム「箱の中身は何でしょう？」を行いました。子どもと女性から希望者を募り、ゲームに参加していただきました。パイナップルや afroヘアのカツラに苦戦する様子に会場も大いに盛り上がりました。残念ながらゲームで景品を逃した子どもたちも、続く全員参加のビンゴ大会で、景品を手にして、喜んでくれた様子で一安心。

恒例のオークションでは、浦上評議員が進行をお引き受けくださり、慶應グッズや中内副会長ご提供のポートピアホテルスイートルーム宿泊券など、魅力的な品が次々落札されました。

売上総額は12万9千円となりました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

土井副会長からの中締めのご挨拶の後、全員で若き血を合唱、記念撮影を行い、楽しい会はお開きとなりました。

景品のご提供をはじめ、陰に陽に例会を支えてくださった方々にこの場をお借りして、御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

萩原 勇作（平21・法）





新年 顔合わせ会

1月4日

神戸慶應倶楽部 倶楽部ルーム

毎年恒例の新年顔合わせ会が開かれました。出席者は14名で、武市会長を囲みながら、ワッハッハと笑いの絶えない約3時間半の宴となりました。



今年も、北陸支援の銘酒をはじめ、地元神戸の珍しいお酒など、通も喜ぶ豊富な日本酒の飲み比べを楽しみながら、参加者の近況にとどまらず、昔の話、業界の裏話、日本のこれからの教育の在り方など、こちらにはちょっと書けない興味深い話の沢山飛び交い、参加者の話題の引き出しの豊富さに、新年早々舌鼓やら舌を巻くやら、蛇年の私の舌がチョロチョロ忙しいひと時でした。

先輩後輩の垣根がなく、和気藹々な神戸慶應倶楽部の雰囲気、また大好きになりました。ご参加くださった皆様ありがとうございました。

黒川早苗（平12・法）





新年例会 1月16日（木）18:30～ 西村屋和味旬菜

今年も関西不動産三田会様との合同例会で、神戸慶應倶楽部から19名、全体45で名の方が参加されました。

はじめに、関西不動産三田会世話人代表であり神戸慶應倶楽部評議員でもある小池さんから開会の挨拶があり、武市会長の乾杯のご発声で盛大に会をスタートしました。

今年もますますかのに値段が高騰する中、お値打ちの価格でとても美味しい「かに会席」をご提供頂き、食もお酒もどんどん進み、大いに盛り上がりました。途中、数十年ぶりのご参加や、初参加、ビジターの方々からのご挨拶があり、2月6日の早慶互例会・3月16日の第6回コーラス花の早慶戦のご案内がありました。芦原さんから閉会のご挨拶があり、丹下さんのエールで「若き血」を合唱し楽しい会はお開きとなりました。

西村屋の皆様には、今年も大変お世話になりありがとうございました。

松沢 尚浩（平16・経）



3月例会

3月18日（木）18:30～ 東天閣

今回も多くの参加者の皆様が集い、神戸慶應倶楽部恒例の3月例会が開催されました。武市会長のご挨拶に始まり、続いて堺先輩から乾杯のご発声があり、賑やかに例会がスタートしました。今回も、中神先輩のご厚意により、特別メニューをご提供いただきました。たいへん美味しいお料理の数々に、今回も大盛り上がりとなりました。

また、会の中頃には、京都慶應倶楽部からビジター参加された岡田様、中井様より、今秋11月16日（日）開催の、「関西合同三田会 京都大会」についてご案内をいただきました。11年ぶりの京都開催とのことです。

盛会のうちに、あっという間に楽しい時間が過ぎ、最後に、中内先輩から締めのお言葉があり、皆で若き血の大合唱と集合写真の記念撮影をして、お開きとなりました。

多木 宏之（平23・政）



4月例会

4月17日（木）18:30～ 神戸市立中央区文化センター

登壇者 霍見 真一郎氏『司法の頂点と地方紙記者』

バブル崩壊後の95年に阪神大震災・地下鉄サリン事件と暗いニュースが続きました。私自身のこととなりますが、まだ三田の校舎に通っており神戸にいないことの歯がゆさや、日常利用していた、丸ノ内線で起こったテロ行為、そして神戸に戻って、このいわゆる連続児童殺傷事件が起きました。自分とは全く相違する特殊な思考の人間が起こした事件という見方から、深くこの事件について掘り下げて知ろうとしていなかったと思います。私の勉強不足といえばそれまでですが、今回のお話もその事件の司法資料が破棄されたことを突き詰めた方のお話という印象で、正直、気が重いなと思いながら参加いたしました。萩原会員が霍見様にお会いした際にこの話を伺い、非常に感銘をうけ、例会に講師として来てくださった、といういきさつがあります。

大学でも教えられているということで、お話が非常に上手で、聞いていくうちにどんどん引き込まれました。いろいろとレポートすべきことはあると思いますが、話の内容が多岐にわたるうえ、内容が濃すぎてうまくレポートできません。私個人的な印象となってしまいますがご容赦くださいませ。二つのことが印象に残りました。司法の場で日常に常識として行われていることが世間からみれば果たして正常なのかということ。地方紙の司法記者という物書きを生業とする方の生きざま、です。

私自身司法の専門家ではないので、どこまで理解できているかわからないですが、情報としてのレポートとしては、すべてにおいて東京一極化が進む時代にあって、地方では在京の大手新聞社よりも地方紙がシェアトップである道府県が37あること。当時の少年法の在り方や、この事件をきっかけにそれが現在では大きく変わってきたこと。少年犯罪が凶悪化しているということが世の中で一般的になってきているが殺人などの凶悪犯罪は1%に過ぎないこと。神戸家裁におけるこの事件の供述資料の破棄は、内規で保全される可能性があったにもかかわらず、他の事件に関するものと同様に取り扱われ、きわめて事務的に廃棄されたということ。そして現在は、講師の報道した記事がきっかけとなり永久保存される司法資料が増えてきていること。

事件や取材の振り返りなどについては、霍見さまが2022年に神戸新聞で一年にわたり連載された「成人未満」という企画がありますので、是非ご覧ください。当時の主任検事の供述を柱として事件の内容や真意が記述されています。その取材の過程で、記録を神戸家裁が全て廃棄していた事実をつきとめ、2022年10月に特報しました。社会を揺るがせた少年事件の記録が全廃されていた事実は大きな衝撃を与え、この事件だけでなく、記録廃棄が全国で相次いでいることや、廃棄が機械的に行われていた実態を明らかにしました。一連の報道で取材班代表である霍見さまは、2023年度の新聞協会賞を受賞されました。

そして、紙に文章を書いて人に伝える記者という方の生きざまのお話も興味深かったです。霍見真一郎さまは、98年に早稲田大学を卒業され朝日新聞「週刊20世紀編集部」でフリーライターとして活躍され2001年から神戸新聞に入社されました。例会中、白い紙に自分の大切な人や物の名前を丁寧に書き、その内容を見ていない隣の人に、目の前でその紙をビリビリに破られることをワークショップとして行いました。私は息子の名前をかいたのですが、何とも言えない気分になりました。白紙に言葉を載せるだけで十分に人の心を動かすことができるということを実感できました。文章だけで簡単に事件の当事者を傷つけることができるのです。被害者やそのご家族などの立場に立って深く考えることの重要性。まさに「ペンは剣よりも強し」（霍見さまは慶応ではなく早稲田出身です、念のため・・・）とおっしゃっていました。だから文章を書く方は自覚を持たなければならない。昨今では、SNSで散見されるような、講師ご自身が好まないような内容の文章にも目を通して情報を収集し、事件の当事者としての主観的視点、少し離れた立場からの関係性の視点、そしてなぜその事件が起き、今後どのように対処すれば問題がおきないのかを考えるとところまで行う第三者としての視点をもって文章を書く必要があるということをごまかせていただきました。

最後に土井副会長からの謝辞内で、現在起きているフジテレビの問題と同じで、司法の場で常識的に行われたことが実は社会では非常識かもしれませんという言葉も印象的でした。身近なところで常識と捉えている事象は、実は客観的にみれば非常識かもしれませぬ。いろいろと考えさせられる一日となりました。

和田 真一（平8・商）



定時総会 5月27日（木）18:30～ 神戸オリエンタルホテル

武市会長の開会宣言に始まり、黒澤幹事が代表を務めるスターズ神戸の活動が開始されたことを筆頭に、活気づく神戸の街についてのお話ののち、第1～第4号議案まで、それぞれつつがなく議案決議が行われました。

2024年度の行事報告においては、会長よりBBQ家族例会や横浜三田会との合同例会など、新しい取り組みについてもご説明がありました。また議案外として、現在の会員数(258名)の報告もあり、今後の入会者募集にも力が入ります。

総会終了後は懇親会となり、種類豊富なお酒と美味しい料理を楽しみながら、43名の参加者は様々な世代との交流を図られていました。

そして、新入会なさった方々からご挨拶をいただき、力強いエールののち、神戸旧居留地のおしゃれホテルを後にしました。

小嶋 淳平（平12・経）



6月例会

6月26日（木）18:30～ 神戸市立中央区文化センター

登壇者 小坂 光彦氏（H6・環）

阪急阪神ホールディングス グループ開発室DX推進部部長

小坂君は、塾の環境情報学部（SFC）の1期生として、「社会の課題に向き合い、それを解決する力を持つ人材を育てる」というSFC創設の理念を出発点にご自身の歩みを振り返られました。

講演では、阪神電鉄在職中に立ち上げた二つのプロジェクトについてご紹介いただきました。

一つ目は「ミマモルメ」。改札や校門の通過情報を保護者に通知する見守りサービスで、子どもの登下校をリアルタイムで把握できる安心感を提供する仕組みです。子どもたちが犯罪被害に遭いやすい「保育園から小学校への移行期」に焦点を当て、公共交通と教育現場の間を橋渡しする形で社会実装されており、「実学の精神」の体現ともいえる取り組みです。特に登校ができなくなっているお子さんを持つお母さんからの感謝の手紙を読まれた時は、会場のみなが感動しました。

二つ目の「プログラボ」は、子どもたちがロボット教材を使いながら、主体的に考え、仲間と協働し、成果を発表する力を育むプログラミング教室です。ここでも、単なるIT教育にとどまらず、「考える力」「伝える力」を育てる教育実践が軸に据えられています。特に夙川校に在籍していた子の成長、そしてその子が塾の法学部に合格したという話も披露されました。

「いいまちとは、教育・文化・安心がそろっていること」と語る小坂さんの言葉には、慶應義塾が大切にしてきた「実学の精神」——すなわち、現実社会の課題に自ら飛び込み、解決策を形にしていく姿勢——が強くにじんできました。

身近な地域の安心と子どもたちの未来をつなぐ取り組みに、会場の塾員一同、深くうなずきながら耳を傾けた時間となりました。

児玉秀樹（平22・経管修）



7月例会

7月18日（木）18:00～ ホテル日航福岡

2025年7月 福岡三田会にお邪魔してきました。

7月17日 中州屋台，ぼくは前日から前乗りして，古賀ゴルフ組数名と中州の屋台に行ってきました。適当に入った屋台は，味はまあまあでしたが，ラーメン，焼きラーメン，鳥皮ぐるぐるなど，博多名物を頂くことができました。隣に座った人は名古屋からの2人組で，その他は外国人でした。どうやら地元の人は屋台に来ないようですw

7月18日 例会，さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中邦裕氏の講演でした。

創業から現在に至るまで，今取り組んでいることなど，とてもおもしろい講演でした。

詳細は福岡三田会HPで確認ください。 <https://fukuoka-mitakai.org/news/2025/37.html>

7月18日 二次会，同級生の千鳥饅頭総本舗 原田君のアテンドで，もつ鍋のお店に連れて行って頂きました。神戸と福岡の合計20名ほどでした。もつ鍋のほか，呼子のイカなど，ここでも博多名物と佐賀名物を頂くことができ，味もめっちゃ美味しかったです。神戸はおじさんが多かったですが，博多は若手の子も多く，神戸と博多の話のほか，バカ話でめっちゃ盛り上がり，とても楽しい時間でした。今度は神戸にとお誘いしておきました。

二次会の後，またまた原田君のアテンドで裏中州にて三次会。深い話を交わしてきましたw

7月19日 太宰府，有志9名で太宰府天満宮に参拝しました。早稲田卒のガイドさんで，いい意味で話がとても長く，ごりごりに日焼けできました。本殿が改修中でしたが，仮殿にての参拝でした。仮殿はめっちゃめっちゃおしゃれで，本殿を見るより良かったですwちなみに，仮殿のデザイナーは大阪万博の大屋根を設計した藤本壮介氏です。さすがです。期間限定なので，興味のある方はお早めにどうぞ。太宰府の後は，みんなでランチ。ここでは水炊きを頂き，これで博多名物をほぼほぼコンプリートできました。帰りに，原田君の博多名菓チロリアンを大量に購入し，博多名物完全コンプリートです。

めっちゃめっちゃ楽しい博多3DAYSでした。今度は博多の皆さんに神戸に来てもらいたいです。

最後に，原田君，死ぬ程お世話になりました！！

おかげさまで楽しい博多時間でした！！めっちゃありがとう！！

鳥巢慶太（平12・理工）



秋季慶早ゴルフコンペ

2024年11月12日、恒例の慶早ゴルフコンペが三甲ゴルフクラブにて開催され、総勢26名（慶應18名、早稲田8名）の参加者が、最高のゴルフ日和に集いました。

結果は、個人戦での優勝は野沢さんとなりました。チーム戦も今回は慶應が勝利することができましたが、ベスグロは早稲田の安西先輩がダントツの74でした。今後安西先輩を超えることができる人材になれるよう精進いたします。

次回は4月ころ、慶應主催で開催予定です。奮ってご参加ください。 山本哲平（平29・政）

濱根杯

1月18日土曜日 晴天

歴代会長の濱根先輩を敬した、神戸慶応クラブ唯一の公式大会である濱根杯が西宮カントリークラブで開催されました。大寒を控え、体調不良で直前キャンセルもパラパラと出たなか、終日日差しもあり、風も穏やかで、最高のゴルフ日和でした。地形特有のあいかわらずの難しいグリーンに皆様、悩まされたようですが、各組、楽しくラウンドできたようです。優勝はなんと、武市会長でした。平成29年の濱根杯に優勝されて以来2度目の優勝となりました。お仕事に会長職にともにお忙しい中、きっちり優勝される場所はさすがです。

ゴルフに腕の覚えのある方、是非、次回のご参戦おまちしております。 和田 真一（平8・商）

春季慶早ゴルフコンペ

2025年5月14日、恒例の慶早ゴルフコンペが東廣野ゴルフ倶楽部にて開催されました。総勢19名（慶應11名、早稲田8名）の参加者が、最高のゴルフ日和の中、厳しいセッティングの東廣野に挑みました。

10.0ftという高速グリーンで難易度は非常に高くなっておりました。

結果は、個人戦での優勝は早稲田の中村さんとなりました。またチーム戦今回は早稲田の勝利、ベスグロは早稲田の安西先輩がダントツの79と3タテを喰らいました、次回は勝てるよう私も練習して戦力となれるよう頑張ります。次回は11月ころ、早稲田主催で開催予定です。

山本哲平（平29・政）



大阪・関西万博に早速行ってみて!

令和7年4月13日(日)大阪・関西万博が夢洲(ゆめしま)で開幕しました。いろいろ問題が噴出しています今回の万博ですが、ともかくお祭りは参加しないと楽しくないので、4月20日(日)早速出かけてみました。

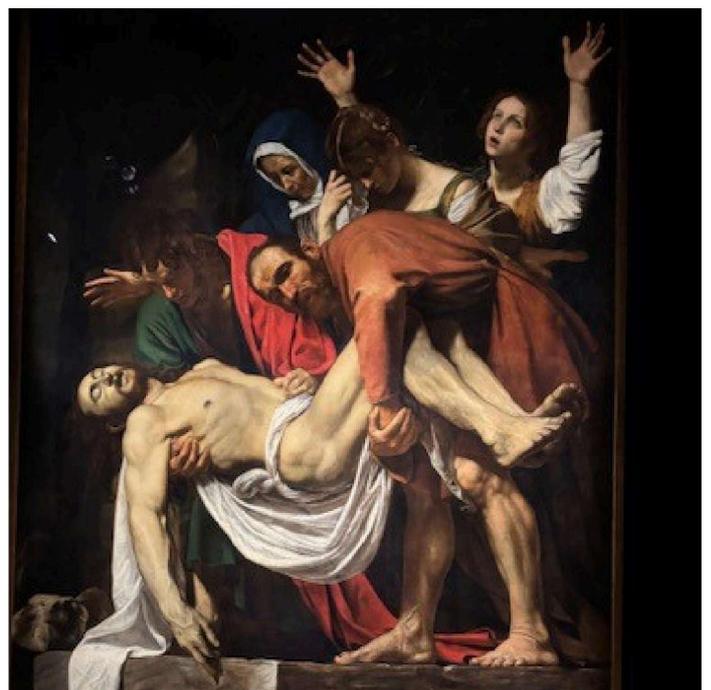
スマホでの万博ID取得、チケット購入、ゲート入場・パビリオンの予約はなかなか高齢者には難しいことですが、医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の練習と思って頑張りました。大阪市内より30分余り、メトロ中央線で夢洲駅にスムーズに着きました。東ゲートより空港のような手荷物検査を受けて約15分並んで万博会場へ。ミャクミャクくんと大屋根リングが歓迎してくれました。

開幕1週間後の日曜日とあってなかなかの混雑でしたが、問題なく過ごせました。事前予約済みのイタリアパビリオンはとても興味深いものでした。公式ガイドブックには記載されていない、大きな2トンの大理石彫刻 ファルネーゼのアトラス(本物 ナポリ国立考古博物館所蔵)、カラヴァジオの絵画 キリストの埋葬(本物 バチカン美術館所蔵)、ダ・ヴィンチの直筆スケッチ 2点(本物 アンブロジーアーナ所蔵)がすぐ側に展示されており、写真が写し放題でした!! 大阪・関西万博 前評判はまいちでしたが、大阪市内よりのアクセスも快適で、行ってみると海外旅行気分楽しく過ごせました。すっかり万博ファンになりました。

暑い夏がまだまだ続きます。特に高齢者が熱中症に注意しつつ万博を楽しむには、「通期パス」を活用し、午後・夕方よりの半日を目的(可能な限りパビリオン・イベント予約する)を持って楽しむ。並ばない万博を目指しつつ短時間で大阪・関西万博を満喫する。

開幕初日から出かけられた方、万博関係者の神戸慶應倶楽部会員の皆様も多数いらっしゃると思いますが、私なりに万博の感想を皆様にご報告させていただきます。

神戸慶應倶楽部、淡路三田会 高田 育明(昭51年・医)



Up next.

●9月例会

日 時：9月11日（木）18時30分～（受付開始：18時00分）

場 所：楠公会館2階 菊水の間（楠公神社内※）

※楠公会館正門は18時に閉まりますので、西門よりお入りください。

<https://www.minatogawajinja.or.jp/access/>

講 師：黒澤 玲央会員（平17・商／幹事）

会 費：6,000円（ビジター+1,000円）

テーマ：「ゼロからのプロスポーツチーム誕生」

内 容：企画担当 郷田副幹事長より

「西日本初のアイスホッケーチーム STARS KOBE スターズ神戸の代表である
黒澤 玲央会員のご講演を、お食事とともに楽しみいただければと存じます。

講演はおおよそ一時間弱を予定しております。

講演後は、引き続き同じ『菊水の間』にて、懇親のひとときをお過ごしください。」

締 切：9月3日（水）12時

●濱根杯ゴルフコンペ

日 時：2025年10月4日（土）＜集合＞7時47分 スタート室前

場 所：芦屋カンツリー倶楽部 <https://www.ashiya-cc.or.jp/access/>

住所：〒659-0002 芦屋市奥山1-25

電話：0797-31-0501

時間：8時7分スタート4組（OUT2組 IN2組／計16名）

プレー費：31,780円

会 費：1,000円

問 合 先：城口隆（きぐちたかし）kiguchi3@kiguchi.jp /090-3746-8955

和田真一（わだしんいち）wadakaikai@gmail.com /090-4643-0516

締 切：9月22日（月）12時

☆参加ご希望の方は、氏名・卒年・学部・ハンディキャップをご記入のうえ、事務局までご連絡ください☆

●10月例会

日 時：10月9日（木）18時30分～（受付開始：18時00分）

場 所：ザルーフトップ神戸

新入会員

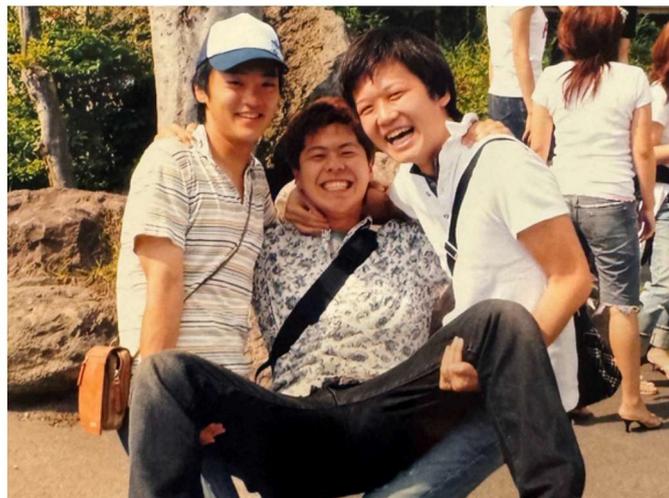
益原 武史（平18・経）

強制スポーツ刈り、青い学ラン、心のオアシスはモーニング娘。
駅から学校までの通学路では不良に絡まれる高校で悶々と過ごし、大学デビューするぞと心に誓った18歳の春、日吉キャンパスで私の慶應ライフは始まりました。
男性は慶應、女性は聖心女子大学という由緒正しきテニスサークルに入り、仲のいい同期や先輩後輩に恵まれました一方で、ドラマのようなキラキラした恋愛とはほど遠い、雀荘通いの男臭い生活をしていました。

卒業後はフジテレビに入社。11年の在籍期間中に
報道記者や舞台・美術展のイベントプロデュースの
仕事をしておりました。

2017年に退社し、現在は家業の事業継承者として、
パチンコ店の経営とアパレル事業をしております。
入会早々、BRBの副編集長を担当することになりました。

大学デビューに失敗し、全く彼女ができなくて
悪戦苦闘する私を優しく支えてくれた1学年後輩が
なんと今回BRB編集長に就任した岩井玄太郎くんです。
20年の時を経て、今度は私が微力ながら
岩井編集長を支えていきます！



（写真の説明） 20年前の2005年、大学4年のサークル夏合宿にて（中央が僕、右が岩井くん）

相島 淑美（平7・文修）

大学院文学研究科で修士、博士と巽孝之教授（当時。現：慶應義塾ニューヨーク学院長）のもと、アメリカ文学を専攻いたしました。巽先生には学者として教育者としての生き方や作法を叩きこまれました。

某女子大学に就職、翻訳家（鈴木淑美名義）として活動した時期もございますが、結婚で関西にまいりましたのを機に、文学しか知らない自分に足りないもの＝経営的発想を学びたい、と一念発起し、関西学院大学でMBAを取得しました。同大学博士課程（先端マネジメント）で「価値共創」の概念と出会い、三田の大学院時代に最も心惹かれた文学理論「読者反応理論」の親和性に気づいたことから、文学とマーケティングの両領域を融合するような面白い研究がしたいと思うようになりました。現在、神戸学院大学経営学部で教鞭をとっておりますが、いまの私があるのはひとえに慶應義塾で過ごした日々のおかげです。感謝の思いを抱きつつ、神戸慶應倶楽部の活動に参加させていただきます。趣味は茶道と仕舞です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新入会員

橋本 隆 (昭51・医)

ロートルですが、この度、神戸慶應倶楽部に入会させて頂きました。慶応大学医学部では医学部スキー部に所属していました。卒業後、皮膚科医として、44歳まで慶応大学、65歳の定年まで九州の久留米大学に勤務し、8年前、天王寺の大阪公立大学皮膚科に特任教授として異動しました。

現在は、厚労省難病研究班の仕事を中心に、いろいろな皮膚疾患の研究を進めています。

外来診療をしてませんが、40年の皮膚科医経験がありますので、いろいろな皮膚病の相談や良い先生のご紹介はできると思いますので、お声がけください。

4年前に難病の診断センターのスタートアップ企業を設立してから、いろいろな関西の三田会・慶應倶楽部の皆様のお世話になっています。趣味は音楽だけで、カラオケが主体ですが、クラシックピアノの練習とサザンオールスターズコピーバンド活動もしています。これからは神戸の皆様にもジャズも教えて頂きたいと思います。



小林 資明 (令6・法科)

この度、神戸慶應倶楽部に入会させていただくことになりました小林資明と申します。令和6年3月に慶應義塾大学法務研究科を卒業しました。

中学校入学から神戸を離れ、約13年ぶりに神戸に戻ってまいりまして、今年の3月末から弁護士として、ときた・小林総合法律事務所に入所いたしました。まだまだ分からないことも多いですし、責任の重さに押しつぶされそうになることもありますが、ようやく、幼少期より憧れていた弁護士として仕事ができるようになり毎日楽しく過ごしています。

ロースクール時代は小池先生に大変お世話になり、朝6時に質問のメールをお送りし、7時には返信を頂くという生活をしておりました。当時は試験のプレッシャーもあり辛く感じておりましたが、今思い返しますと、先生方の手厚いサポートの下、優秀な友人達とあれこれ議論しながら勉強できる環境はとても恵まれたもので、楽しかったなあと思います。

この神戸慶應倶楽部でも、皆様と楽しく過ごさせていただければと思っております。

また、現在、鋭意ゴルフの練習中ですので、お誘いいただけますと嬉しいです。今後とも、よろしく願いいたします。



(写真右から2人目)

新入会員

森 博幸（令3・商）

2021年商学部卒の森博幸と申します。高校は慶應志木高校で、3年間ラグビー部に所属しており、大学では準体育会のラグビーチーム“JSKSラグビーフットボールクラブ”で活動しておりました。今回は大学時代のラグビーでの活動を中心にご紹介いたします。

表題の通りですが、私が所属していた当ラグビークラブは1929年に発足されており、記録上のラグビーチームでは日本最古の団体です。長い歴史があるためOBの方とのコネクションも強く、当時から慶應という結束の強さを実感しておりました。当時を振り返り、魅力的に感じる点を挙げると、古くから現在に至るまで、“学生主体で考えて行動する”という組織方針で活動している点です。私個人としても、“主体性ある行動”という考え方の下、組織運営について携われた経験が大きな財産となっています。今後も携わっていく貴重な経験や人を大切に、活動していきたいと思えます。今後とも引き続きよろしくご願ひいたします。

成川 正亮（平2・政）

この度神戸慶應倶楽部に入会を認めていただきました成川正亮です。

1986年に法学部政治学科に入学。剣道同行会の剣友会に所属、関根ゼミで社会学を学びました。出身は川崎市ですが、前職キリンビールの大阪勤務時代に西宮出身の嫁と知り合い、神戸に魅せられ三宮に手狭なマンションを購入しました。住居は15年前でしたが、その後和歌山、仙台、岐阜と転勤が続き、早期退職をしたこの春に晴れて週末以外も神戸の住人となれました。最近では六甲道から長田くらいの範囲で日課としている街散策や、現在中1の息子とはヴィッセル神戸の応援などを楽しんでおります。アウェイの試合も複数観戦するほど力が入り、チームの好調ぶりには喜んでいますが、サッカー部出身武藤選手の雄姿が怪我による欠場で最近見れないのは残念です。

和歌山三田会には数年所属しました。これから神戸での活動を広げていきたいと考えております。何卒よろしくご願ひいたします。

新入会員

上田 竜之輔（昭62・政）

みなさま、はじめまして。この度入会させて頂くことになりました上田竜之輔（たつのすけ）と申します。名の通りの辰年1964年の生まれで、1987年法学部政治学科の卒業です。

大学時代は中国研究のゼミ（石川忠雄研究会）に所属しつつ、同好会で中学から続けておりますテニスに注力しておりました。

卒業後は保険会社の東京海上に入社し、東京ほか全国5都市の勤務を経て昨年定年を迎えました。現在は姫路大学・豊岡短期大学を傘下に持ちます学校法人の常勤理事を務めております。



職住ともに神戸市ではございませんが、長い歴史を持つ神戸慶應倶楽部のお仲間に入れて頂きたく申し込みをさせて頂きましたところ、快く受け入れて頂き感謝しております。微力ではございますが、皆様のお役に立てるよう励む所存でございます。現在自宅は東京で単身赴任中です。ゴルフが唯一の趣味ですので、同好会ははじめ機会がございましたらお声かけ頂けると幸いです。では、どうぞ宜しくお願い致します。

長村 直樹（平4・政）

この6月1日付で高松より神戸に赴任してきました、電通西日本の長村と申します。広島県出身、1969年生まれの現在55歳。平成4年法学部政治学科卒業です。

今回初めての関西での生活となりますが、早速に伝統ある神戸慶應倶楽部に入会を認めて頂きましてありがとうございます。

学生時代は日吉と三田の間ということで、東横線の祐天寺に4年間住んでおりました。趣味は、トライアスロンとマラソン。妻と息子も同じ趣味で、3人で国内外の多くの大会に出場しております。

息子も京都での学生生活を終え、この4月から東京で就職しましたが、

現在、慶応義塾大学のすぐ隣にある、会社の「日吉寮」に住んでおり、「縁」のようなものを感じております。これまで、広島慶應倶楽部、讃岐三田会にも入会させて頂き、諸先輩方にご指導を頂いてきました。今後、どうぞよろしくお願い致します。



新入会員

池田 美穂 (旧姓：萩原) (平17・理工)

四年生で研究室に入るまでは授業も最低限、サークルにも入らず、学生生活は半分くらいしか満喫していません。研究室では仲間と共に忘れられないほど濃い一年を過ごし、今でも一生の友達です。管理工学科での勉強は実践的で面白く、研究室の学びを活かし、P&Gにて13年間、生産管理の仕事をしました。現在は結婚して家族で淡路島に移住し、結婚相談所の経営をして、幸せな人生を手に入れるお手伝いをしています。淡路島では田舎生活を満喫し、休日は家族の趣味である山登りやキャンプに出掛けています。山登りで印象的だったのは屋久島。これから行ってみたいのは利尻山と、なぜか島に惹かれる傾向があります。車で四国、関西を周る旅行も好きで、道の駅スタンプラリーをしながらその土地のお酒（日本酒）や食を楽しんでいます。（ビールも好きです！）

よろしくお願いたします。



松尾 梨紗 (平21・法)

はじめまして、平成21年法学部法律学科卒業の松尾梨紗と申します。

塾生になったのは大学からで、民法の金山直樹先生のゼミに所属し、サークルは杏葉硬式庭球会でした。東京出身ですが、検察官として約10年間、東京・大阪・金沢・福岡など各地を転々とし、現在は夫の地元・神戸で弁護士をしています。神戸での生活は4年程になりますが、都市部でありながら、海と山に囲まれて自然豊かな神戸での生活を楽しんでいます。

最近は、全国を転々として忙しくしている内に久しく会えていない慶應の友人や先輩方から、Facebookの写真を変えたことがきっかけで久しぶりに連絡を取り合う機会があり、また、サークルの先輩が出版されたご著書を通じて楽しく近況を報告し合うなど、改めて塾員の絆の温かさを感じています。神戸慶應倶楽部でも素敵なご縁が広がることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。



POSTSCRIPT.

皆様、改めまして、新しくBRBの編集の任を仰せつかりました 岩井 玄太郎 と 益原 武史 です。

鳥巢先輩、天竹先輩から受け継いだ、この大役の重みを感じながら、見やすさを重視しつつ、残念ながら会に参加が叶わなかった会員の方へ、会の様子が伝わるよう意識して挑みました。

僕・岩井は、こういったセンスを問われる何かを任せてもらう経験が乏しい(笑)ので、こうしたらいいよ！もっと良い写真持ってるよ！など、会員の皆様に育てていただきながら、由緒ある神戸慶應倶楽部の発展に、微力ながら尽力して参る所存です。

副編集長の益原さんは、新入会員のところで、自己紹介されておられますので、今一度僕のこと軽く書かせていただきます。

岐阜県出身で、慶應義塾大学経済学部を平成19年に卒業しました。公認会計士の勉強をして苦節約10年、やっと合格し、30歳の時にEY新日本監査法人で勤務した後、神戸慶應倶楽部の近くで、公認会計士と税理士の事務所を構えております。長男は小学3年、次男は年長で、土日は家族全員でテニススクールへ出かけて、汗を流しています。

2022年に入会させていただいて、早3年が経とうとしていますが、ポートピアホテルに夫婦で参加したのが、つい先日のことのようにです。当時はコロナ禍で、皆様マスク姿だったこともあって、顔とお名前もちゃんと一致せず、めちゃくちゃ緊張してビールの味があんまりしなかったことが記憶に残っています。(すみません)

会員の皆様と次の会でお会いできることを楽しみに、写真がもっと上手になるよう鳥巢先輩に、ご指導いただきながら、精進いたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

www.kobekeio.org

KOBE KEIO CLUB

 078-393-0050

 kobekeio@dream.ocn.ne.jp